

平成21年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5-6	In Unity 開催事業	継続	平成11年	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原区音楽ライブ実行委員会	対象者	区民	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予定事業 <input type="checkbox"/> 緊急対応事業				
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他 ( )	関連事業局・事業内容						
目的及び内容	アマチュアバンドやダンスユニットが日頃の活動の成果を発表し、音楽を通じて幅広い地域間・年齢層の人々が交流することを目的として区民の手作りによる音楽ライブを開催する。 In Unity2010 と、その公開オーディションであり、出演者を高校生に限定した NAKAHARA MUSIC FES2009 を実施し、2月には商店街と連携してオープンカフェ、3月には区役所コンサートと連携したPRイベントを開催した。							
予算額	1,800,000 (円)	決算額	1,799,770 (円)	不用額※	230 (円)			
※不用の理由								
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】  フラッグ、スタッフと一緒に熱演	NAKAHARA MUSIC FES を出演者を高校生に限定して開催して若い世代に発表の場を拡大し、商店街と連携したオープンカフェはより地域に密着することを目指し、区役所コンサートでは比較的高齢の方にインユニをPRした。 In Unity2010 のホームページへの掲載、マスコミへの宣伝、成人の集いでPRを行い、フラッグ・チラシの作成等全て実行委員による手作りの音楽ライブを開催した。			実施時期 (開催日/回数等)	3月14日(日)	参加 人数等	900人

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)  中原区に関わりを持つアマチュアバンドやダンスユニットに発表する場を提供することは、区内の音楽活動を活発化する。また、オープンカフェ、PRイベント等の活動により音楽ライブを多くの区民に周知し参加してもらうことは、地域・世代間の交流を促進する。そして音楽ライブを若者中心の委員会が手作りで区民に提供することは、市民活動としては珍しい若い世代との協働という意味で有意義である。
--

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	次年度以降は、より地域に根ざし、世代間交流を図ることができる音楽ライブとなるような運営を心掛けていく。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

※ 区民会議からの主な意見


より一層充実して、区民の世代間交流につなげていてもらいたい。 地域や小中学校での事業展開も考えられるのではないかと。
---

平成21年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5-7	中原街道歴史シンポジウム事業	継続	平成15年	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	NPO 法人日本伝統文化福祉振興協会		対象者	一般区民		<input checked="" type="checkbox"/> 当初予定事業 <input type="checkbox"/> 緊急対応事業	
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他 ( )		関連事業局・事業内容	なし			
目的及び内容	郷土史研究者らを交えて中原街道を始めとする区内の歴史についてのシンポジウムを開催し、当時の生活や文化などの歴史を学ぶ機会を創出し、区民の郷土意識の醸成に繋がるような事業を実施する。						
予算額	1,100,000 (円)	決算額	1,100,000 (円)	不用額※	0 (円)		
※不用の理由							
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】		川崎市市民ミュージアムにて、「江戸時代の多摩川の交通と生活」をテーマとして「多摩川と渡し」の基調講演に始まり、4名の大学教授や専門分野の研究者をパネリストとした講義を開催した。 また、屋外アトラクションとして「放鷹術」をグラウンドで実施した。				
	 <p>(鷹狩り実演の様子)</p>						

2 事業評価

評価の結果と理由 (緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
大型マンション住民をはじめとした新たな住民が増えている中原区にあって、中原街道その他の中原区に関わる歴史について、当時の暮らしや社会情勢・時代背景を学ぶことは郷土意識の醸成に寄与する地域に密着した事業といえる。 放鷹術の実演は、「中原街道時代まつり」の会場の中で行われ、当時の「将軍のお鷹狩り」を連想させ、新しく区民になられた方々への魅力発信や先人の歴史や街道筋の生い立ちに触れる格好の機会となっている。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	講演会については、区民の関心が高く盛況だが、テーマの選び方に工夫の必要がある。 中原街道時代まつりの会場で行われる放鷹術については、鷹を間近に見られる貴重な体験ができる。しかし、時代まつり事業とシンポジウム事業の線引きが、必ずしも明確ではないので、時代まつり事業の主催者との調整の必要がある。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

※ 区民会議からの主な意見


地域の歴史を学んでいくことは必要である。事業内容がマンネリ化しないよう留意する必要がある。
---

平成21年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5-8	歴史と緑の散策コース案内板設置事業	継続	平成20年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原区役所地域振興課	対象者	区民	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予定事業 <input type="checkbox"/> 緊急対応事業	
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他 ( )	関連事業局 ・事業内容			
目的及び内容	平成18年度の協働推進事業でなかはら20年構想委員会が作成した「なかはら歴史と緑の散策マップ」の完成に合わせ、区内の名所や史跡を巡る際の道標となる案内板を設置する。 3ヶ年で散策マップに記載したコース全般にわたって設置できるように計画的に進めていく。 21年度は東急東横線元住吉駅西口及び東口に1基ずつ設置を行った。				
予算額	1,208,000(円)	決算額	1,208,000(円)	不用額※	0(円)
※不用の理由					
結果・成果	<b>【事業実施状況・成果物などの写真等】</b> 		平成19年度、平成20年度に設置した区内5箇所の駅に続き、平成21年度は東急電鉄元住吉駅に設置した。 設置にあたっては、元マップの作成に寄与した「なかはら20年構想委員会」と検討し、掲載範囲の確認を行なった。また、設置場所周辺の町会を始めとして商店街及び国際交流センター及び平和館と打ち合わせを行い、利用者が活用しやすいものになるよう工夫をした。		
	元住吉駅東口設置の散策案内板		実施時期 (開催日/回数等)	通年	参加 人数等

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
設置を行なうにあたり、記載内容やデザインについて周辺町内会、商店街、区内公共施設と打ち合わせを行い、地元住民の要望を可能な限り反映したものを設置することができた点は効果的であった。また、散策案内版に設置場所の詳細図及び平和館、国際交流センターの導線を掲載することにより、散策コース以外にも区内公共施設の利用促進を促す点で有効的なものとなった。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	新規転入者及び横須賀線新駅の利用者を中心とした区民に中原区の魅力を発信し、まちが活性化することを目的として、小杉駅に設置を行なう。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

※ 区民会議からの主な意見

転入者は地域の情報を欲しがっている。地域の魅力を積極的に発信していただきたい。
---

平成21年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5-9	区役所庁舎内飾花事業	継続	平成11年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原区文化協会		対象者	来庁者	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予定事業 <input type="checkbox"/> 緊急対応事業	
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他 ( )		関連事業局・事業内容			
目的及び内容	中原区役所庁舎内に年間を通じて生け花を展示し、来庁者が親しみやすさを感じられるような区役所の雰囲気作りを行う。					
予算額	300,000 (円)	決算額	300,000 (円)	不用額※	0 (円)	
※不用の理由						
結果・成果	<b>【事業実施状況・成果物などの写真等】</b> 		中原区文化協会の華道部5流派が交代で各々の作品を毎週月曜日から金曜日まで区役所1階に花を生けている。 毎回質の高い花が展示されるとともに、季節によって生ける花の種類や彩りが変わることによってフロアに季節感を与えている。			
	(区役所1階区民課6番窓口前)		実施時期 (開催日/回数等)	通年 (毎週交代)	参加人数等	—

2 事業評価

評価の結果と理由 (緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)  区役所1階の展示場所に、季節感のある新しい花を毎週生けることは、来庁者にやすらぎを与え、区役所の親しみやすい雰囲気作りをすることができる点で有意義である。 中原区文化協会は生け花に精通し、事業の趣旨にも賛同して毎回質の高い作品を、安定、継続的に展示している。 また、来庁者の中には、花を背景に写真に撮る人も見られるなど、本事業は成果を挙げていると考える。
---

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
<input type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	本事業は上記のような成果が見られることから今後も継続する。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

※ 区民会議からの主な意見

庁内を華やかにする取り組みも必要である。
----------------------

平成21年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5-10	中原区役所施設内ウッドデッキ補修事業	新規	平成21年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原区役所	対象者	一般区民	<input type="checkbox"/> 当初予定事業 <input checked="" type="checkbox"/> 緊急対応事業	
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他 ( )	関連事業局 ・事業内容			
目的及び内容	中原区役所正面玄関ウッドデッキの老朽化が著しく、釘が露出して危険な状態のため、これを撤去し適法に処分したうえで、新規にステンレス製のビスを設置しウッドデッキを改修する。				
予算額	229,950 (円)	決算額	229,950 (円)	不用額※	0 (円)
※不用の理由					
結果・成果	<b>【事業実施状況・成果物などの写真等】</b> 		中原区役所正面玄関ウッドデッキの老朽化したビスはステンレス製のビスに交換され、区民や幼稚園児の憩いの場の安全が確保された。		
	正面玄関ウッドデッキ		実施時期 (開催日/回数等)	3月12日	参加人数等

2 事業評価

評価の結果と理由（緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること）  中原区役所正面玄関ウッドデッキは、花壇に隣接し区民の憩いの場、小児の遊び場となっており、老朽化したビスが露出した状態を至急是正する必要があった。 改修工事により老朽化したビスは撤去され適法に処分され新品のステンレス製のビスに交換されたため、ウッドデッキの安全性は確保された。
---

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
<input type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 終了する	本事業は上記のような成果が見られたことから終了する。	

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

※ 区民会議からの主な意見

子どもも遊べる場となっているので、引き続き安全対策をとっていただきたい。
--------------------------------------

平成21年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5-11	中原区魅力紹介冊子作成事業	新規	平成21年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	なかはら散策ガイドの会	対象者	一般区民	<input type="checkbox"/> 当初予定事業 <input checked="" type="checkbox"/> 緊急対応事業		
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他 ( )	関連事業局・事業内容				
目的及び内容	再開発や横須賀線武蔵小杉駅開業により中原区に新たな住民が増加する中で、中原区内の観光スポット及び散策コースを区民に広く知ってもらい、中原区の魅力を共有して地域に愛着を持ってもらうため、読みやすく持ち歩きやすいガイドブックを作成する。					
予算額	959,636(円)	決算額	959,636(円)	不用額※	0(円)	
※不用の理由						
結果・成果	 (作成した冊子「なかはらが好き」)	市民団体との協働、地域の方々の資料提供などの協力によりガイドブックを作成することで、中原区の魅力を発見し地域を見つめ直すきっかけとした。 再開発等で新たに中原区民となった方々にも読んでいただき、地域に愛着、誇りを持ってもらえるようにした。	実施時期 (開催日/回数等)	3月19日	参加人数等	—

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること) 再開発や横須賀線武蔵小杉駅の開業に伴い新たに中原区民となられる方が多くいることから、中原区区民会議の「まちの魅力を見つける」をテーマにして中原区の魅力を発見、共有することは地域への愛着を深めることにつながるとの議論を受け、中原区内の魅力を載せたガイドブックの作成を決定した。 新駅開業イベントと合わせた発行を目指し、製作期間2ヶ月という厳しい条件のもと市民団体と協働で地域に長く住む住民の資料提供等の協力を得ながらガイドブックを作成及び、新駅イベントをはじめ区内各所で配布したことは、ガイドブック作成の目的である中原区の魅力を区民に広く知らしめること及び地域に愛着、誇りを持ってもらうことを達成していると考えます。
---

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
<input type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 終了する	本事業は上記のような成果が得られたため終了する。	

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

※ 区民会議からの主な意見


転入者は地域情報を欲しがっており、様々な手法で地域の魅力を発信してもらいたい。
---

平成21年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
6-1	まちづくり推進実践活動支援事業	継続	平成11年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原区まちづくり推進委員会	対象者	一般区民	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予定事業 <input type="checkbox"/> 緊急対応事業	
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他 ( )	関連事業局 ・事業内容			
目的及び内容	区づくり白書「もっとすてきになかはら」の実現のために、地域からの推薦・公募による委員により組織された委員会が、2つの部会（課題発見・解決部会、支援・広報部会）を通して地域の課題に対して取り組む実践活動を支援することを目的としている。また、区民交流センター「なかはらっば」の管理・運営の協定先として、区内諸団体の中間支援組織としての活動に対して事務的な援助を行うことを目的としている。 活動に関しては、より効果的・実践的な展開を狙い、広報物のデザインや運営に関する助言を専門家に依頼する。				
予算額	3,048,000 (円)	決算額	3,025,390 (円)	不用額※	22,610 (円)
※不用の理由					
結果・成果	<b>【事業実施状況・成果物などの写真等】</b> 		課題発見・解決部会として、まちなかのマナー・モラルを向上させることを目的としたマナー・モラルポスターの募集・掲示、誰もが安心して通れる地下道作りと維持、昔遊びや新しい公園の模索を通じた地域・世代間交流の促進を行った。 また、支援・広報部会として、市民活動団体や一般区民の交流の場作りとしての「月イチ！まちづくりサロン」の開催、委員会活動や区内のまちづくり情報の発信手段としての「まちづくり通信」の発行や「HPナプロコ」の運営、写真を通じた区内の魅力発信を目的とする「まちふおと倶楽部」の活動を行った。		
	(月イチ！まちづくりサロンの様子)		実施時期 (開催日/回数等)	通年	参加 人数等

2 事業評価

評価の結果と理由（緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること） 平成21年度に行った取り組みとして、主に以下のような新たな成果を挙げた。 課題発見・解決部会では、マナーアップ意見交換会を開催し、地域における様々な世代の参加者と共にマナー・モラルについて話し合い、報告書としてまとめた。 支援・広報部会では新しく立ち上がった「まちふおと倶楽部」と広報グループが連携し、カラー版の広報物により区内の魅力発信を効果的に行った。また、区民交流センター登録団体の紹介冊子を作成し、各団体の広報について支援することで、中間支援組織としての活動を推進することができた。 また、地域振興課と連携して区民交流センターの区民による運営体制の立ち上げに尽力した。
--

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	今後は地域の諸団体・企業とも連携し、実践活動部隊として限られた人数の中でより効果的に活動を拡大していく。 また、区民交流センターの運営委託先として、本センターを拠点とした効果的な地域団体支援を行っていく。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

※ 区民会議からの主な意見


継続の上、発展させてもらいたい。
------------------

平成21年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
6-2	20年後を考えたまちづくり実践事業	継続	平成15年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	なかはら20年構想委員会		対象者	区民		<input checked="" type="checkbox"/> 当初予定事業 <input type="checkbox"/> 緊急対応事業	
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他( )		関連事業局・事業内容	まちづくり局			
目的及び内容	都市計画マスタープラン中原区構想区民提案の推進のために、委員会がマップの作成、まち歩き、花回廊づくり等の区民自らが実践できる活動を通して、都市構造や土地利用などの様々な方面から、魅力あるまちづくり推進にむけた活動を支援する。また、委員会活動をより効果的・実践的な活動として推進するために、作成物やワークショップの支援を専門家に依頼する。						
予算額	1,340,000(円)	決算額	1,303,474(円)	不用額※	36,526(円)		
※不用の理由							
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】 		平成20年度に作成した「小杉今☆昔ウォーキングマップ」を活用したまち歩き、パネル展示を行なうことにより、新規転入者を含め区民にまちの魅力や地域への関心を高めるきっかけづくりになった。 花回廊の協力・参加している団体に集ってもらい、パンジー会議を開催することにより、試行的に種から育ててもらうことによる花回廊の推進につながる契機づくりとなった。				
	市民館記念事業でのパネル展示		実施時期(開催日/回数等)	通年	参加人数等		

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること) 平成20年度に作成した「小杉今☆昔ウォーキングマップ」を活用したまち歩き及び市民館記念事業でのパネル展示を行なうことにより、新規転入者を中心とした区民にまちの魅力や地域への関心を高めることができ有意義な活動になった。 また、花回廊の協力・参加している団体が集まり、情報交換の場としてパンジー会議を開催することにより、今後の花回廊づくりの拡大につながる機会となった。また、地域交流促進イベントで花を設置することにより、団体間の交流及びイベント参加者へ区内に花の風景があることを知ってもらうとともに、花回廊協力団体が維持管理活動に日々尽力していることを知ってもらうきっかけとして効果的だった。
--

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	再開発及び二ヶ領竣工四百年と連携した「歴史と緑の散策マップ」の改定を行なっていく。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

※ 区民会議からの主な意見

将来を見通したまちづくりの視点は大切であり、今後も継続して取り組んでもらいたい。




平成21年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
6-3	放置自転車対策のためのマナーモラル啓発事業	継続	平成13年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	自転車と共生するまちづくり委員会	対象者	区民	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予定事業 <input type="checkbox"/> 緊急対応事業	
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他 ( )	関連事業局 ・事業内容			
目的及び内容	委員会による月2回の早朝呼びかけ、各種イベントにおける自転車利用のマナーの啓発活動に対して活動の支援を行うとともに、自転車利用者や商店街利用者の立場から、駐輪場増設を提案するなど行政との協働事業として取り組んでいる。また、事業の実施に当たってより効果的に活動を行えるよう、啓発グッズのデザイン先進事例の研究について専門家に支援を依頼する。				
予算額	1,485,000 (円)	決算額	1,484,152 (円)	不用額※	848 (円)
※不用の理由					
結果・成果	 <p>(呼びかけ運動)</p>		小杉駅周辺早朝放置自転車防止呼びかけや、各種イベントでのマナー教室、パンフレット配布等の啓発活動とともに、近隣地域と啓発グッズを連携して製作、配布し広く活動の協力者を募った。 区民会議と連携した出張講座や、広報チラシを作成し、自転車問題に取り組むなどして、地域住民、商店街と行政が協働して自転車問題の解決を図りながら自転車との共生を目指した。		
		実施時期 (開催日/回数等)	通年	参加 人数等	

2 事業評価

評価の結果と理由 (緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
自転車と共生するまちづくり委員会が自転車利用のマナー啓発活動に取り組むことで、放置自転車を始めとする自転車問題に対して地域住民・企業・行政が協働で解決に向けた取り組みを行うことができた。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	自転車マナーの啓発活動を継続しつつ、委員会のノウハウやグッズ提供などで武蔵小杉駅以外の駅及び周辺地域と協働して区全体に向けた自転車マナーの啓発活動を広げる。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

※ 区民会議からの主な意見

放置自転車は昔と比べて、改善されてきたが、自転車の運転マナー等の改善に向けた取り組みが今後は必要である。区内全域に浸透させる事業に発展させてもらいたい。
--

平成21年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
6-4	区民活動支援事業	新規	平成21年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	地域振興課、中原市民活動の集い実行委員会	対象者	各地域活動団体、一般区民	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予定事業 <input type="checkbox"/> 緊急対応事業	
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他 ( )	関連事業局	事業内容		
目的及び内容	平成22年度から中原区民交流センター「なかはらっば」の窓口運営が登録団体の協力を得ることで行われる体制を整えるため、他都市における同様事例の研究や運営に関するスケジュールリングの相談役として専門家に依頼をすることで、協力団体募集への理解がスムーズに得られ、当初目的が支障なく達成できるよう図る。 また、登録団体が実行委員会を立ち上げることによって行う「中原市民活動の集い（なかはらっば祭り）」を開催し、登録団体同士の交流と一般区民への市民活動周知を行う。				
予算額	2,502,000(円)	決算額	1,858,498(円)	不用額※	643,502(円)
※不用の理由	当初予定より専門家への委託期間が短縮されたことにより、それに準じて支払額が減少したため。				
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】		専門家からのアドバイス、デザインをされた広報物を活用することにより、登録団体からの協力申し出をスムーズに取り付けることができ、平成22年度からの協力団体による輪番制の窓口運営につなげることができた。 また、中原市民館において7月に「中原市民活動の集い（なかはらっば祭り）」を開催することで、一般区民に市民活動団体の日ごろの活動の成果を伝えられたと共に、イベントを登録団体同士が企画・運営することを通じて、団体間の交流を促進することができた。		
	 (登録団体への説明の様子)		実施時期 (開催日/回数等)	通年 (集いは7月19日)	参加人数等

2 事業評価

評価の結果と理由（緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること）
区民交流センターの窓口が、行政からの直雇用の事務員から区民（登録団体）のボランティアによる輪番制へと移行したことは、中原区における市民活動拠点が自立した施設に近づいたという側面で非常に大きな意義がある。また、一般区民の憩いの場所という位置づけでもある当センターに区民が常駐（現状は月・水・金）していることは、自然と人が集まり交流できる場所というセンター設置の意図を推進したことになる。 なかはらっば祭りの開催は、市民活動を一般区民に周知できるという意味もあるが、交流センター登録団体がイベントの準備、開催を通じて交流し合い、各自の視野を広げることができたと共に交流センターの活性化にも寄与したと言え、その役割は大きい。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
<input type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 終了する	本事業自体は、協力団体による交流センターの窓口が開始されたために終了することになるが、なかはらっば祭りの開催は「中原市民活動の集い開催事業」単独事業として、交流センターをさらに盛り上げるために登録団体の自立した企画・運営体制を強化して実施していく予定である。	

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

※ 区民会議からの主な意見

窓口を輪番制にしたことで、市民団体の意識も高くなってきている。継続した取り組みを期待したい。
--